

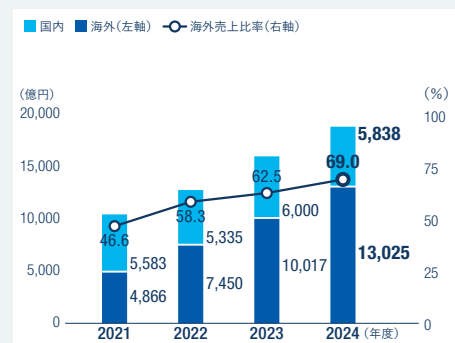
財務・未財務[※]ハイライト

※未財務資本：当社が投資を強化していく中、将来財務につながる（キャッシュフローを生み出す）重要資本が増強されることを表し、財務へのコネクティビティをより明確に示すことを企図して使用

売上収益など、その他財務データの変化については [P65](#) をご覧ください

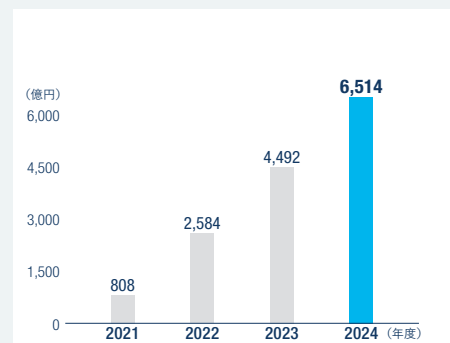
財務データ推移

海外売上比率



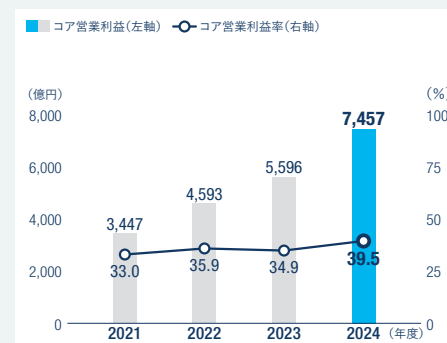
エンハーツ、リクシアナ等のグローバル注力品の売上伸長および円安進行による増収に伴い、海外売上比率は上昇しています。

グローバル売上収益 エンハーツ



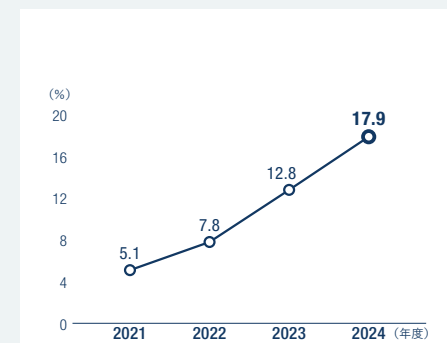
既上市国・地域での市場浸透および上市国・地域の拡大により大幅に増収しました。

研究開発費控除前コア営業利益・コア営業利益率



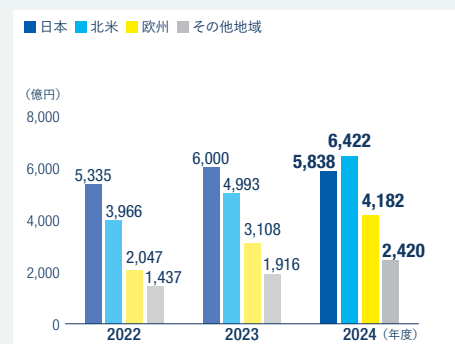
増収に伴いコア営業利益も増益となりました。

ROE



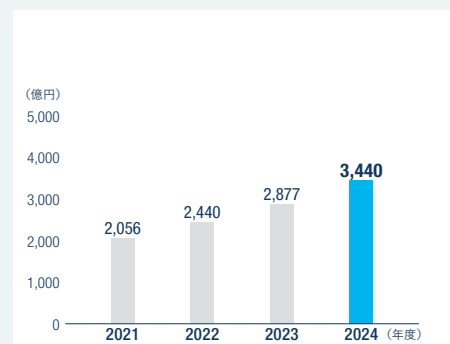
2025年度目標の16%以上を、2024年度時点で17.9%と上回って達成しました。

セグメント別売上



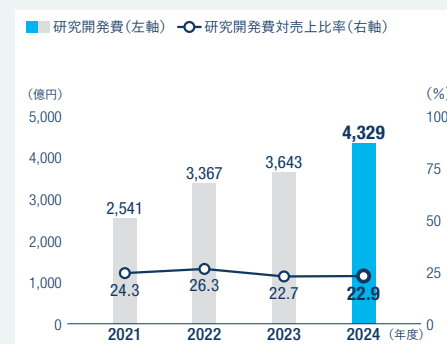
グローバル主力品の売上伸長等により、日本を除く全ての地域で増収となりました。

グローバル売上収益 エドキサバン



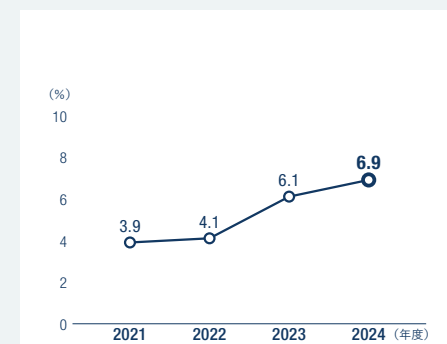
日本・欧州等での売上が堅調に伸長しました。

研究開発費、研究開発費対売上比率



5DXd ADCsの製品価値最大化を目指した投資の増加等により、研究開発費は増加しました。

DOE[※]



増配に伴いDOEは上昇し、2025年度目標を目指して株主価値の最大化に取り組んでいます。

※株主資本配当率=配当総額÷株主資本(親会社の所有者に帰属する持分)

有価証券報告書については [こちら](#) をご覧ください
 当社グループのバイブラインについては [こちら](#) をご覧ください

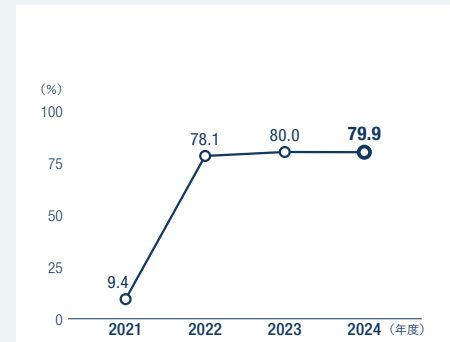
環境データ推移

CO₂排出量 (Scope1+Scope2) の削減率



2022年度から国内各社拠点における使用電力を再生可能エネルギー化し、Scope2のCO₂排出量を大幅に削減しています。

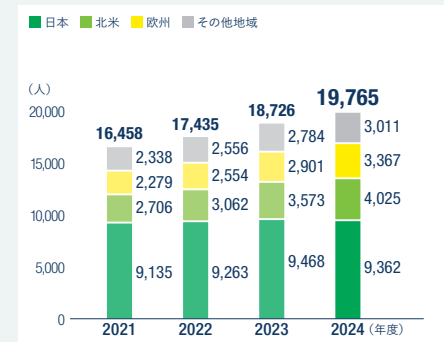
再生可能電力利用率



自社拠点における使用電力の再生可能エネルギー化を積極的に推進しています。

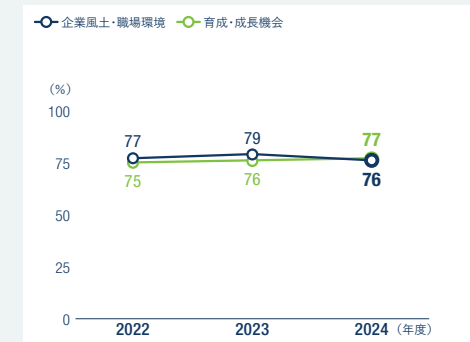
社会データ推移

社員数



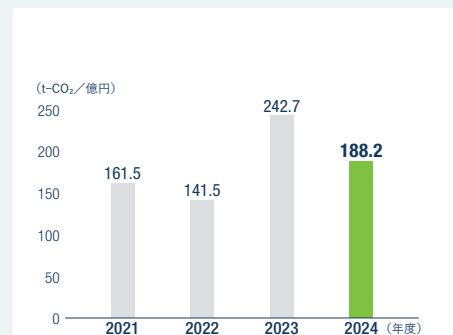
グローバル展開の拡大に伴い、高い専門性や豊富な経験を有するグローバル人材の確保を強化しています。

エンゲージメントサーベイ肯定的回答率



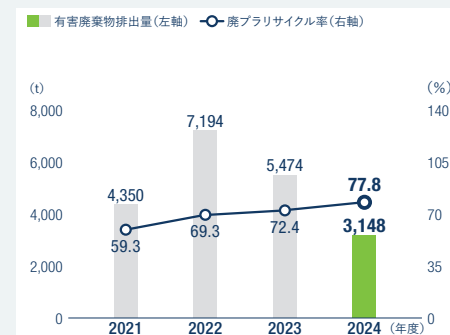
グローバル共通のエンゲージメントサーベイによる分析・改善施策を実施し、エンゲージメント向上を目指しています。

CO₂排出量 (Scope3, Cat.1) 売上高原単位



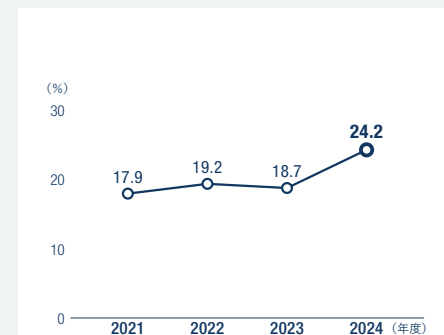
売上高の増加および連結子会社の売却により、売上高原単位が減少しました。今後は、調達先企業の活動量に基づく実排出量を反映する算定方法の導入を検討していきます。

有害廃棄物排出量、廃プラリサイクル率



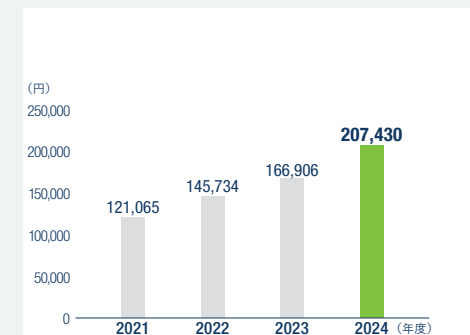
有害廃棄物排出量は削減努力により基準年の2020年度 (5,607t) を下回りました。また、廃プラリサイクル率は再資源化を進めることにより、目標値の70%以上を達成しています。

女性上級幹部社員比率 (グローバル)



女性社員が長期的にキャリアを構築し、活躍できるような女性活躍推進に取り組んでいます。

社員一人当たりの教育投資額



社内教育プログラムをはじめとする多様なアプローチを活用して、事業競争力を高めていくための人材を育成・強化しています。